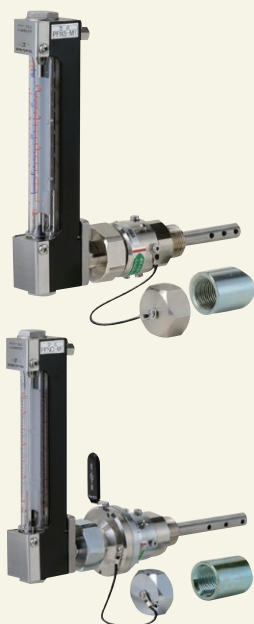


指示部着脱型／PFN



※写真はピトー部とのセットとなっております。

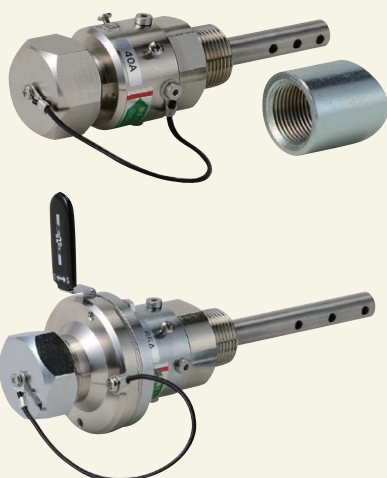
ピトー部材質		最高使用圧力		流量	目盛板	
PFN	S	M	1	U	1	2
S:黄銅製		1:1MPa		U:標準流量	目盛板表選定	
C:青銅製		2:2MPa		D:大流量		

目盛板表

目盛板番号/標準流量				目盛板番号/大流量(特別仕様)			
1	S-20/25	2	S-32/40	11	L-20/25	12	L-32/40
3	S-50/65	4	S-80/100	13	L-50/65	14	L-80/100
5	S-125/150	6	S-200/250	15	L-125/150	16	L-200/250
7	S-300/350	8	S-400/450	17	L-300/350	18	L-400/450

- 標準流量、大流量タイプそれぞれの中で二種類の目盛板を自由に組合せることができます
例)目盛板記号『S-20/25』と『S-200/250』を選択した場合、20A、25A、200A、250Aの各管径(ピトー管)に取付できます。(標準流量と大流量の組合せは不可)
- 標準配管(SGP)と標準外配管(ライニング管 32A～100Aのチーズ取付等)は検出部の管内径が異なる為、組合せできません。

ピトー部着脱型／PFN



ピトー部材質		最高使用圧力		ピトー部長さ	管径
PFN	S	A	1	0	50A
S:黄銅製		1:1MPa		0:標準	目盛板表選定
C:青銅製		2:2MPa		L:ロングタイプ	

管径表

20A	25A	32A	40A
50A	65A	80A	100A
125A	150A	200A	250A
300A	350A	400A	450A

取付について

- 20～50A ⇒ チーズ取出し
- 65A～ ⇒ ソケット取出し
- 保温材90mm以上は、ピトー長さロングタイプを選択

指示部固定型／PFT



ピトー部材質		最高使用圧力		流量	ピトー部長さ	管径
PFT	S	1		U	0	50A
S:黄銅製		1:1MPa		U:標準流量	0:標準	目盛板表選定
C:青銅製		2:2MPa		D:大流量	L:ロングタイプ	

管径表

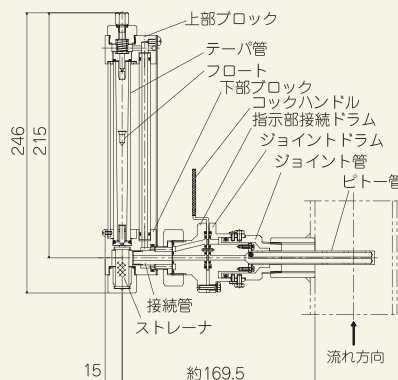
20A	25A	32A	40A
50A	65A	80A	100A
125A	150A	200A	250A
300A	350A	400A	450A

取付について

- 20～50A ⇒ チーズ取出し
- 65A～ ⇒ ソケット取出し
- 保温材90mm以上は、ピトー長さロングタイプを選択

付属ソケット及びチーズの取付

- 取付は配管サイズによってチーズ又はRソケット(先端にR加工)又はソケットで行います。
- 標準仕様は配管サイズに応じて上記3種類のいずれかが付属していますが、標準外の場合はお客様でご用意ください。
- お客様でご用意頂く場合、Rc 1 1/4以上の取出しは避けてください。



要部材質	
上部ブロック	CAC406C
テーパ管	パイレックス
フロート	チタン
下部ブロック	CAC406C
ストレーナ	SUS304
接続管	CAC406C
指示部接続ドラム	CAC406C
コックハンドル	SUS304
ジョイントドラム	CAC406C
ジョイント管	CAC406C
ピトー管	SUS304

取付方法

- ① 流量を正しく計測する為には、本流量計取付位置の前後に別表(P31のTable5/Table6)の直管部を必要とします。
- ② 取付場所に『Fig5』を参照して配管サイズに応じた穴をあけます。
- ③ 付属のソケットを配管に対して直角に保ち、水平(方向)に溶接します。
 - 32A/40A/50Aの場合 ⇒ 付属のRソケット(先端にR加工)の内径と配管のφ24穴を合わせ、配管の外面に溶接します。
 - 65A以上の場合 ⇒ 付属のソケットの先端と配管内壁面が一致するようにソケットを差し込み、溶接します。
- ④ ピトー部本体をソケット①(又はチーズ)に、漏れ、ゆるみのないようにしっかりねじ込みます。
- ⑤ ピトー管の流入孔の向きを示すピトー部外側のラベルの赤線が、配管の上流側に向く様に設定してから、M3固定ネジ③(3本)を締付け固定してください。
- ⑥ 充分フラッシングしてから指示部を取付けてください。⇒ゴミの流入を防止できます。

注) 下記の場合、流量計指示部内の空気抜きができず流量指示が不正確になりますので、流量計の取付けは避けてください。

- ポンプの吸込み側で運転中負圧になる場所
- その他、負圧になるおそれのある箇所

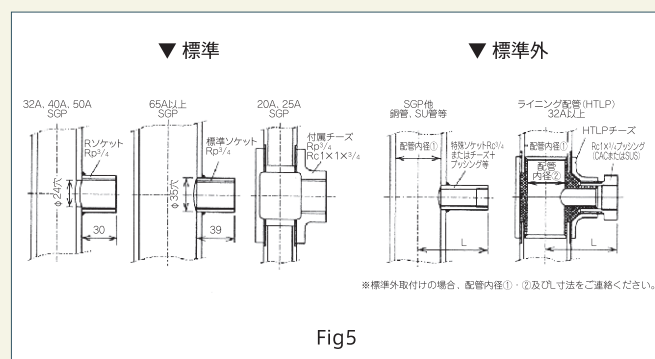
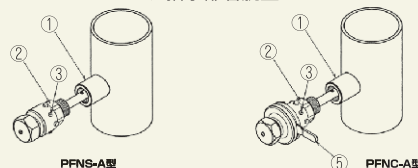
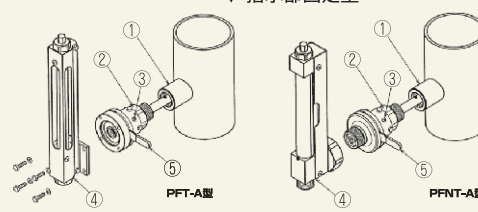


Fig5

▼ 指示部着脱型



▼ 指示部固定型



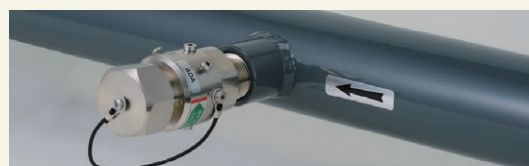
部品名	
①	ソケット/AB
②	ピトー部本体
③	十M3固定ねじ
④	指示部
⑤	コックハンドル



▲ 横配管



▲ 縦配管



▲ 横配管

▼ 指示部収納ケース



流量範囲及び配管寸法

標準流量				大流量・・・特別仕様			
管径	流量範囲 (L/min)	1目盛	SGP 管内径	管径	流量範囲 (L/min)	1目盛	SGP 管内径
20A	8 ～ 60	2	21.6	20A	15 ～ 90	5	21.6
25A	15 ～ 100	5	27.6	25A	20 ～ 150	5	27.6
32A	20 ～ 130	5	35.7	32A	30 ～ 190	10	35.7
40A	30 ～ 200	10	41.6	40A	50 ～ 290	10	41.6
50A	50 ～ 360	10	52.9	50A	80 ～ 500	20	52.9
65A	80 ～ 580	20	67.9	65A	150 ～ 850	50	67.9
80A	150 ～ 850	50	80.7	80A	200 ～ 1200	50	80.7
100A	200 ～ 1400	50	105.3	100A	300 ～ 2000	100	105.3
125A	300 ～ 2000	100	130.8	125A	500 ～ 3000	100	130.8
150A	400 ～ 3000	100	155.2	150A	600 ～ 4400	200	155.2
200A	800 ～ 5400	200	204.7	200A	1200 ～ 7800	200	204.7
250A	1500 ～ 8000	500	254.2	250A	2000 ～ 12000	500	254.2
300A	2000 ～ 12000	500	304.7	300A	2500 ～ 17000	500	304.7
350A	2500 ～ 15000	500	339.8	350A	3000 ～ 20000	1000	339.8
400A	3000 ～ 20000	1000	390.6	400A	4000 ～ 28000	1000	390.6
450A	4000 ～ 25000	1000	441.4	450A	6000 ～ 36000	2000	441.4

取付位置／直管部

標準流量			Table5	大流量・・・特別仕様			Table6
管径	上流側	下流側		管径	上流側	下流側	
20A/25A	10D以上	5D以上		20A/25A	20D以上	10D以上	
32以上	5D以上	3D以上		40以上	10D以上	5D以上	

- 流量を正しく計測する為には、本流量計取付け位置の前後に上記表の直管部を必要とします。

標準流量

精度	±5.0%FS	
最高使用圧力	着脱型	1.0MPa / 2.0MPa
	固定型	1.0MPa / 2.0MPa
最高使用温度	90℃	
圧力損失	極めて僅少	
適用配管	20A～450A (SGP管の内径が基準)	

特長

- 二重目盛 (赤色Hot温水60℃/青色Cold冷水7℃)
- 直管部は非常に短くて済みます。
- 流れを止めないで指示部の保守、点検可能
- タテ、ヨコいずれの配管にも取付可能
- 在庫対応 (着脱型標準品のみ)



使用法

● 凍結防止

凍結防止にはコックハンドルをS側 (閉) にし、流量指示部内の水を完全に抜いてください。
流量指示部下のロックネジを取り外し、上部の空気抜きをゆるめると中の水を抜くことができます。

● 空気抜き

測定時には、指示部背面上部の空気抜きをゆるめて、指示部内の空気を完全に抜いてください。

● 分解清掃について

① ストレーナー洗浄

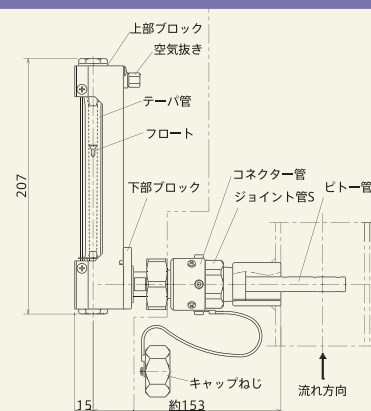
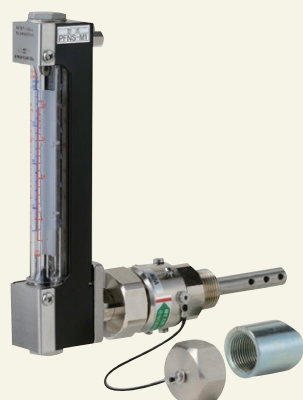
指示部下のロックネジを外すと中のストレーナーが取り出せます。分解後の組立の際にはOリングの取付け忘れにご注意ください。

② テーパー管、フロート、上部ストップの小穴の清掃

最上部のロックネジを取り外すと、テーパー管、上部ストップなどを抜き出して清掃することができます。

構造・寸法及び要部材質

PFNS-M/A

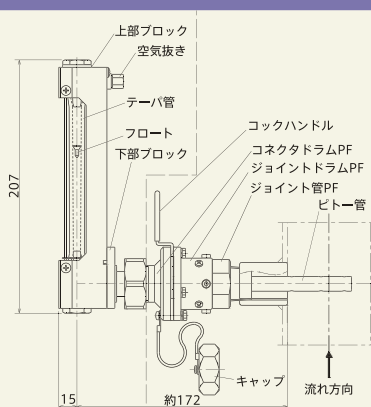
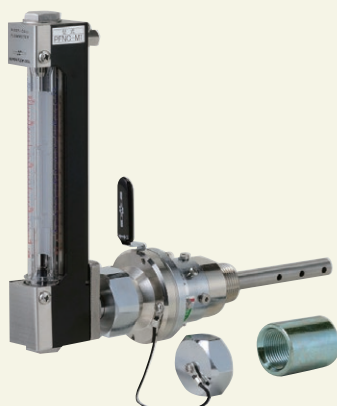


指示部 PFNS-M□□

ビトー部 PFNS-A□

部品および材質	
上部ブロック	SCS14
空気抜き	SUS316
テーパ管	耐熱ガラス
フロート	チタン
下部ブロック	SCS14
コネクター管	C3604
ジョイント管S	C3604
ビトー管	SUS304
キャップねじ	C3604

PFNC-M/A

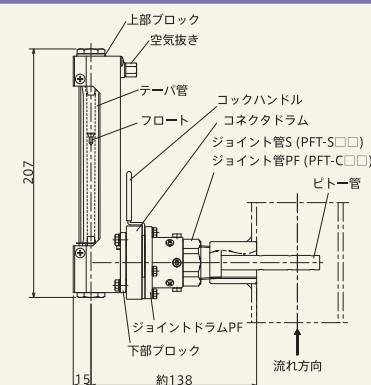
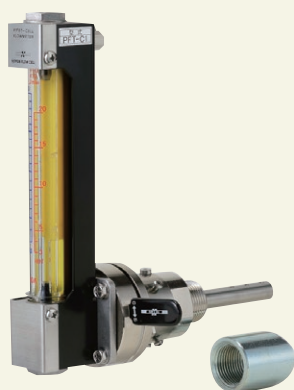


指示部 PFNC-M□□

ビトー部 PFNC-A□

部品および材質	
上部ブロック	SCS14
空気抜き	SUS316
テーパ管	耐熱ガラス
フロート	チタン
下部ブロック	SCS14
コックハンドル	SUS316
コネクタドラムPF	CAC406
ジョイントドラムPF	CAC406
ジョイント管PF	CAC406
ビトー管	SUS304
キャップ	CAC406

PFT-S/C



PFT-S□□
PFT-C□□

部品および材質	
上部ブロック	SCS14
空気抜き	SUS316
テーパ管	耐熱ガラス
フロート	チタン
下部ブロック	SCS14
コックハンドル	SUS316
コネクタドラム	CAC406
ジョイントドラムPF	CAC406
ジョイント管S (PFT-S型)	C3604
ジョイント管PF (PFT-C型)	CAC406
ビトー管	SUS304

測定原理

ピトー管には総圧を受ける流入孔と下流に向けて設置された静圧を受ける流出孔があり、流速に応じて発生する動圧（総圧－静圧）により図のように、テーパ管を通過するバイパス流が生じます。

このバイパス流は流入孔の3ヶ所の平均流速に比例するのでテーパ管内にセットされたフロートの上昇位置で取付け配管の流量を表示できます。

測定原理図 ▶

